

(仮称)草津市 DX 推進計画(第2期情報化推進計画)【概要版】

計画期間:令和7(2025)年度～令和10(2028)年度



第1章 趣旨

1. 目的と定義

情報通信技術（ICT）を活用することにより、市民サービスの向上と地域社会の維持・発展、さらに行政サービスの効率化を目指し策定し、デジタル技術等を活用した市民の利便性の向上や業務効率化により人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていけるようDX推進に向けた取組を進めます。

2. 位置づけ

本計画は第6次草津市総合計画を上位計画とし、まちづくりの基本目標である「未来への責任」を果たしていくとともに、リーディング・プロジェクト（重点方針）であるDX推進プロジェクトを推進していくための目指すべき方向性を明らかにするものです。

第2章 情報化の社会動向

1. 国の動向

- (1)デジタル・ガバメント推進方針 (2)自治体DXの推進 (3)デジタル田園都市国家構想との連携
(4)官民データ活用推進基本法 (5)マイナンバーカードの利活用

2. 滋賀県DX推進戦略

地域や産業の持続可能な発展と県民の暮らしをより豊かにする新たな価値創造を、「暮らし」「産業」「行政」の各分野のDXにより実現することとしています。

3. 情報化の利用動向

- (1)ICTの動向 (2)AI(人工知能)の普及 (3)テレワーク(働き方改革) (4)オープンデータの推進

第3章 情報化推進の現状

1. 第1期草津市情報化推進計画期間中における情報化の取組

「基本方針1」 市民サービスの利便性の向上	「基本方針2」 地域活力の維持・発展	「基本方針3」 行政運営の効率化
- 行政手続きのデジタル化 - マイナンバー制度の利活用 - 窓口サービスの改善 - 教育の情報化	- オープンデータの推進 - 地域・産業の情報化	- 先端技術（AI・RPA等）を活用した業務改善 - 情報システムにおけるクラウド化の推進 - ICT人材の育成

2. DXの推進に向けた取組による課題解決の可能性とニーズ

市民意識調査から市民ニーズの把握に努めます。

3. 本市の抱える課題について

「D」（デジタル）の要素ではなく、「X」（トランスフォーメーション）の要素に課題を抱えており、DX推進に向けた体制の再構築や人材育成基本方針の見直し、DX推進に向けての研修計画の検討を行うことで市役所全体の組織風土を変革していく必要があります。

第4章 草津市 DX 推進計画(第2期草津市情報化推進計画)

1. 基本理念

第1期草津市情報化推進計画の基本理念を承継し、新たな技術や社会の変化に対応しながら、引き続き、各種のDX推進に向けた取組を進めます。

ICTで豊かさを感じられるまち 草津

2. 基本方針

基本理念の実現を図るため、3つの基本方針を定めます。第1期草津市情報化推進計画の取組状況を踏まえて、一部見直しを行っています。

第1期 基本方針

市民サービスの利便性の向上
地域活力の維持・発展
行政運営の効率化



第2期 基本方針

市民サービスの利便性の向上
地域の課題解決
行政運営の効率化

3. 計画の体系

第1期草津市情報化推進計画に引き続き、計画体系については、基本理念の実現に向けて基本方針を定め、基本方針を実現するための重点施策を位置づけます。

4. 重点施策

基本方針1:市民サービスの利便性の向上

- フロントヤード改革の実施
- マイナンバーカードの普及促進・利用の推進
- 公金収納チャネルの多様化

基本方針2:地域の課題解決

- 地域社会のデジタル化
- 効果的な情報発信の推進
- デジタル・デバйд対策

基本方針3:行政運営の効率化

- 先端技術の導入および活用できる人材の育成・確保
- 情報システムの標準化・共通化
- セキュリティ対策の徹底
- デジタル原則を踏まえた規制の点検・見直し

第5章 計画の推進

- ◆ 推進体制：草津市 DX 推進本部会議・草津市情報化推進懇話会
- ◆ 実行計画：草津市 DX アクションプラン
- ◆ 情報セキュリティ